

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和1年11月21日

事業所名 すまいる・キッズ

職員数 5

回収数 5

割合 100%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			
	②	職員の配置数は適切である	5		・欠席児がいると職員数が多い場合もあるが、その分じっくりと関わり、次回の支援に生かしている。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5		・初めていく部屋など通常とは違った環境を取り入れる場合は、混乱しないよう写真を見せたり、嫌な場所にならないよう時間をかけて対応している。	お子さんによっては視覚ツール（絵・写真・数字カード等）を使用することで、生活の流れの見通しが持ちやすいようにしている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5			
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5		・ミーティングを有効な時間にする為内容の工夫をしている。 ・必要に応じて時間を設けたり、グループ終了ごとに定例で行っている。 ・振り返る機会(自ら、職員同士)を多く持つようにしている	職員ミーティング（毎月1回）やグループ活動後の定例の振り返り、必要な場合は時間を作り、話し合う場を設けることで、全職員が発言できる場を多く設けるようにしている。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		・つつじこくらの紹介を今年度開始。 ・先輩から話しを聞く会を検討している。 ・定期面談以外にも、ミニ保護者会と個別面談を実施。	昨年度の保護者評価を基に、今年度以下の内容を追加 ・石神井町つつじ保育園で実施されている地域交流への参加の呼びかけと職員の同行 ・未就園児グループ保護者対象のミニ保護者会実施
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		・計画的に外部の研修へ参加している。 ・研修受講後、職員間で情報共有をしている	研修の他に、法人内所属外事業所体験実習を実施中。（石神井町つつじ保育園3名、すまいる・ステップ2名）
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		・保護者のニーズを得られるよう、積極的に動いている	

適切な支援の提供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	3	・必要に応じて発達検査の結果を提出いただき使用。(2名回答) ・独自のアセスメントツールはないが、発達段階に応じた関わりをしている。	OTからの参考資料や助言も得て、アセスメントツールを考察中
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		・現場の声を吸い上げ、その上で保護者と面談を行い、適切な支援内容を示している	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		・支援計画がすぐ確認できる形でファイリングしている	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	5		・希望の形態をお聞きし、形態の中でできる支援を立案している	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		・職員間で共通の認識でチームワークのもと支援がなされるよう打ち合わせは欠かさない	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5			
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5			
関係機関	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		・サービス担当者会議が実施されているかどうかわからない	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5		・幼稚園、保育園との保護者を介した連絡や見学をしている	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	-	-		

や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	-	-		
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5			幼稚園や保護者からの意向に沿い、入園前に文書及び口頭での情報共有を行っている。
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	1	1	・就学支援シートを活用している	就学支援シートの活用を、積極的に保護者に周知している
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	・社会福祉協議会主催の研修を受けている	
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5		・法人内、石神井町つつじ保育園の地域交流の場を紹介している	
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		3	・法人としてどの程度参加しているのかは把握していない。 ・参加しているかどうかわからない。	
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	4	・プログラムとしては確立していないが、適宜行っている。 ・ペアレントトレーニングという形ではなく、支援には常に取り組んでいる。 ・確立された支援プログラムは行っていないが、適宜保護者との面談は行える環境を整えている。	定期的な面談以外にも、保護者、事業所相互の申し出により、積極的に面談の機会を持つようになっている。その中で、保護者の心配事や困り事が緩和するよう、お子さんや各家庭に合った具体的方法を助言させていただいている。
保 護 者 へ の 説 明	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5			
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5		・保護者会(未就園児3回/年、就園児2回/年)、交流会(2日間/年)を設けている。	

説明責任等	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5			
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		・就園児グループ（母子分離）向けにおたよりを発行。 ・法人全体の体制や災害関連は、その都度 おたよりにて発信	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	5			
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5	・利用者及びご家族の心情への配慮の下、敢えて行わない。	同法人内の他事業所にて実施。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5			今年度は、大規模災害を想定した【災害時伝言ダイヤル・Twitter体験利用について】のお知らせを配布。（4回/年）防災の専門家からのアドバイスも参考に【大規模災害対応計画】の策定と同時に、備蓄品の確保を継続準備中。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5			
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	-	-	・食品を提供することが無いので、医師の指示所はないが、アレルギーに関しては保護者から情報を得ている。	サービス提供の内容に食事を含んでいない
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		・アンケートによる自己検証をした。 ・今年度の研修は今後実施予定。 ・通報先については掲示。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	-	-	・身体拘束はしない。	該当児なし。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。